

令和7年度むつ市一般会計  
当初予算

む つ 市



## ■ 予算編成の基本方針

本市では、「むつ市財政中期見通し2024」で示している期間以降においても、新ごみ処理施設建設やむつ総合病院新病棟建設に係る一部事務組合に対する公債費負担が大きく、一般会計の自由度が拘束され、厳しい財政運営が予想されています。

また、原材料費や燃料価格などの物価高騰に加え、円安が続いていることなどから、市民の皆様の負担増につながっている状況にあります。

こうした中においても、市民の皆様の豊かな暮らしと夢や希望を実現していくためには、これまで以上にスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、真に必要な施策や事業に財源を重点的に配分することで、将来世代に負担を強くないよう持続可能な財政運営に努める必要があります。

以上を踏まえて、令和7年度予算においても、本市の最上位計画である「むつ市総合経営計画」に掲げる将来像「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現のため、後期基本計画に掲げる基本方針である「1. 活力あるむつ市の創生」、「2. 教育・子育て環境の向上」、「3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実」、「4. デジタル化の推進」、「5. 危機管理・防災力の向上」を最重点事項の5つの柱として予算編成を行いました。

財政健全化事項は、「むつ市財政中期見通し2024」における「財政健全化の目標」と同一とし、引き続き歳入に見合った財政規模への転換を図りつつも、時代に即した真に必要な事務事業を見極めながら質の高い市民サービスの提供を追求するとともに、効率的な行財政運営と強固な財政基盤の確立を目指すこととしています。

一方で、主要取組事項として、市民の皆様との対話を通じて得た課題や新たな視点を、時代に合った政策へと発展させるための「むつ市未来共創まちづくり推進枠」、デジタル技術等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げるための「DXによるまちづくり推進枠」、全世代が活力のある地域の持続可能な発展と市民生活の向上を目指すための「住み続けられるまちづくり推進枠」という3つの枠を設定しました。

このような方針の下、予算を編成した結果、令和7年度一般会計当初予算総額は、409億1,700万円となり、前年度に比べ8億6,600万円、率にして2.2%の増となりました。

## ■ 基本方針の概要

### むつ市総合経営計画

～「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現～

## 1. 活力あるむつ市の創生

### ●地域経済循環創造事業（ローカル 10,000 プロジェクト）

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 12,000 千円

地域の人材・資源・資金を活用し、地域課題の解決に資する事業を立ち上げようとする民間事業者、創業者等に対して、初期投資費用を補助し、地域での経済循環の創造、雇用の創出及び地域課題の解決を図ります。

### ●地域おこし協力隊設置事業【拡充・住み続けられるまちづくり推進枠】 39,487 千円

地域活性化、地域課題の解決等に効果的な地域おこし協力隊の配置を大畑地区、脇野沢地区等に拡大し、地域ニーズに対応した地域協力活動を通じて、地域力の維持・強化を図ります。

### ●川内地区集落支援員設置事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 4,850 千円

地域おこし協力隊や地域団体の主体的な活動により、にぎわい創出等の効果が表れている川内地区に集落支援員を配置し、集落支援員が地域課題を整理し解決するために、地域おこし協力隊、地域団体等と連携して活動することで、地域の維持・活性化を図ります。

### ●下北ジオパーク推進事業【継続】 25,070 千円

平成28年9月9日に日本ジオパークに認定された下北ジオパークは、住民主体（ボトムアップ）による活動を中心とし、郷土愛の醸成と地域の価値（ブランド力）の向上を図ることを目的としています。

今後は、ユネスコ世界ジオパークの申請を見据えて、地質遺産の国際的価値の解明と国際交流に重点的に取り組めます。

### ●光のアゲハチヨウ推進事業【継続】 10,324 千円

日本夜景遺産、世界夜景遺産に認定された釜臥山展望台からの「光のアゲハチヨウ」の夜景観光の促進を目的として、夜景案内パネルの整備、釜臥山展望台でのイベント開催、記念グッズの製作・配布等を行い、観光客及び利用者の増加を図ります。

●田名部・大湊地区<sup>さんさん</sup>閃閃事業負担金【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】

6,760千円

新しい視点での経済及び文化交流を促すため、国際交流促進の覚書を締結した台湾高雄市の提灯を田名部地区・大湊地区へ設置し、絵付け体験や台湾屋台の出店を実施することに加え、むつ市の夏祭りの実施環境を整備することで、地域の活性化を図ります。

●むつ市海外展開“Plus Ultra”事業【拡充】 18,090千円

本市の海外展開をさらに強化し、これまでのシンガポール、台湾高雄市、ロサンゼルスでの取り組みを継続するとともに、新たな販路を開拓し、深い交流を促進します。

また、職員を海外に派遣し、現地との強固なつながりを築くことで経済・文化等の交流機会を創出し、このイニシアティブを通じて、むつ市の魅力を世界市場に広め、市の持続可能な発展に貢献します。

具体的にはシンガポール、台湾、ロサンゼルスを拠点に地方創生や地場産品の販路開拓を実践する企業への職員派遣と台湾高雄市政府への職員派遣を行います。

●新たな産業による稼げる地域づくり事業【新規・むつ市未来共創まちづくり推進枠】

11,500千円

「稼げる地域」を構築することを目的として、地域の特性を活かした新たな観光産業の創出を目指します。

なお、令和7年度は、市場調査等「稼げる地域」の構築に向けた可能性調査を行います。

●湯野川温泉濃々園建替事業【継続】 368,424千円

施設の老朽化により休止している湯野川温泉濃々園の建替を行い、公衆浴場としての機能維持や施設整備、下北広域周遊観光の拠点としての位置づけだけでなく、コワーキングスペースやRVパーク等の新たなニーズに対応する設備を整備し、来訪者に安らぎと癒やしの空間を提供するとともに、新たな価値を創造することで、交流人口や関係人口の構築から地域の活性化を図ります。

なお、令和7年度は、建設工事を行います。

●中学生等職場体験受入募集事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】

770千円

市内の職場体験の受入が可能な企業を募集し、教育機関へリストの提供を行うことにより、中学生等が職場体験を行いやすい環境を整えるほか、地元就職の促進に寄与するよう取り組みます。

●（仮称）道の駅整備事業【新規】 25,000 千円

道の駅の整備事業を進めるにあたり必要な概算事業費及び事業スケジュールの調査、課題整理を行います。

●フットワークでネットワークを創る企業誘致推進事業

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 3,852 千円

新たな企業の誘致を目指し、立地可能性のある企業を訪問し、直接市のPRを行うほか、すでに市で事業を開始している誘致企業や青森県の県外事務所との連携を強化し、企業誘致に向けたネットワークを構築します。

●産学官連携イノベーション創出事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】

2,400 千円

産学共創による研究体制が進んでいる東北大学と連携し、農林水産業の各事業者が抱える課題の掘り出しや、課題解決のための調査・研究に取り組むことにより、事業者の所得向上を図るとともに、持続可能な地域産業モデルの構築や新たな産業の集積を目指します。

●ナマコ増殖場整備事業（大湊地方隊等周辺民生安定施設整備事業）【継続】

135,643 千円

防衛省では、令和7年度から令和9年度にかけて芦崎湾の浚渫工事を行うことを決定しました。

芦崎湾はナマコの生息地として豊富な資源があることから、同湾で産卵・ふ化したナマコが陸奥湾内で漁獲されています。

防衛省の浚渫工事により芦崎湾内に生息するナマコの斃死が予想され、ナマコの資源保護や漁業経営に多大な影響を及ぼすことが考えられます。

そこで、ナマコ資源の保護を行うと同時に安定した漁業経営に資することを目的とした漁場の整備を行います。

## 2. 教育・子育て環境の向上

●八戸学院大学「むつ下北キャンパス」運営費補助金

【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】 45,000 千円

看護師不足という地域課題を解決するため、令和7年4月に開校する八戸学院大学むつキャンパスに係る運営費を補助し、キャンパスの安定運営を支援することで、継続的に看護師等の育成を図ります。

●**高等学校通学費補助事業【継続】** 26,276 千円

高校生の保護者の経済的負担の軽減を図ることで、将来を担う人材の育成及び地域の活性化に資することを目的として、市に住所を有し、市内の高等学校にバスや鉄道等の公共交通機関又はスクールバスを利用して通学している高校生の通学費用を補助します。

●**子ども医療費給付事業【継続】** 182,620 千円

18歳までの全ての子どもの医療費無償化を継続することにより、次世代を担う子どもの健康の保持増進とともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図ります。

●**預かり保育事業【継続】** 15,330 千円

教育・保育施設に通う園児の教育時間以外の預かりや、一時的に家庭での保育が困難となった未就園児に対して、預かり保育を提供します。

●**こども誰でも通園事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】** 3,485 千円

全ての子どもの育ちを応援し、0歳6か月～3歳未満の未満児が保護者の就労要件を問わず月10時間まで、柔軟に教育・保育施設等を利用できる「こども誰でも通園」を実施します。

●**子どもショートステイ事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】** 4,213 千円

保護者が疾病等の理由で、家庭での子どもの養育が一時的に困難になった場合、保護者に代わって宿泊を伴う短期的な養育を行うことで、子育て支援及び児童福祉の向上を図ります。

●**不妊治療費助成事業【拡充】** 1,542 千円

一般不妊治療（人工授精に限る。）の保険適用後の自己負担額の全額及び生殖補助医療と併せて行う先進医療費の一部を助成します。

また、市外で生殖補助医療を受ける際の交通費の一部を助成することで、経済的な負担軽減を図ります。

●**学校給食費無償化事業【継続】** 237,335 千円

子育て支援策の一環として、義務教育における保護者の負担を軽減するため、市内小中学校の全児童生徒の保護者に対して、学校給食費分の補助金の交付を行い、学校給食費の無償化を実施します。

●給食弁当代替者補助金【継続】 1,452千円

学校給食費の完全無償化実施に伴い、食物アレルギー等の事情で給食の提供を受けることができない子どもがいる家庭を経済的に支援するため、学校給食の代替として保護者が弁当対応する経費を補助します。

●フッ化物洗口事業【拡充】 2,469千円

児童生徒の健康教育の一環として、市内小中学校において週1回、フッ化物洗口を実施することにより、長期的なむし歯予防と歯科保健の向上を図ります。

なお、令和7年度は、希望する学校から実施し、効果等について検証します。

●小中学校冷房設備整備事業【継続】 254,000千円

児童生徒の安全な教育環境を確保するため、夏場の高温対策として、市内全小中学校の普通教室等に冷房設備を整備するものです。

なお、令和7年度は、冷房の稼働に必要な電気設備の改修等を引き続き行い、夏前までに冷房が稼働できる環境を整えます。

●小中学校環境整備事業（市立小中学校トイレ改修）【継続】 12,483千円

児童生徒の学習環境及び災害時の避難環境を改善するため、市内小中学校のトイレを洋式化する工事を行います。

なお、令和7年度は、小学校3校（第三田名部小学校、大畑小学校、大湊小学校）と中学校1校（大畑中学校）の改修工事に係る設計業務を行います。

●むつ市教育支援センター移転事業【新規】 20,914千円

現教育研修センターを旧田名部カトリック幼稚園に移転することにより、利用者がより安心・安全な環境で支援を受けられるようにします。

また、旧田名部カトリック幼稚園の改修により、不登校支援の機能強化を図り、不登校児童生徒及びその保護者の支援を充実させます。

なお、令和7年度は、移転に係る調査及び設計業務を行います。

●地域文化・スポーツクラブ推進事業【継続】 342,356千円

「部活動の選択肢が少ない」、「学校単独で試合に出られない」などの市内中学校における部活動の現状を踏まえ、中学生の文化・スポーツ活動の選択肢を広げ、一人ひとりの充実した放課後活動等を確保するため、令和5年度から段階的に中学校部活動の地域移行を進め、令和7年度までに全ての中学校部活動の地域移行に取り組みます。

なお、令和7年度は、運営団体となる「むつ市地域文化・スポーツクラブ（愛称：むつ☆かつ）」にスポーツクラブを6クラブ（軟式野球、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、卓球、スキー）を新たに地域移行し、中学校から全ての部活動が地域移行することになります。



●**東京大学連携事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】** 10,000 千円

東京大学（スポーツ先端科学連携研究機構）に寄附講座を開設し、中高生のスポーツについて、動作解析などの科学的考察を導入することを通して、トレーニングの効率化はもとより、最先端技術を見て、触れて、感じるができる機会を作り、子ども達が視野を広げ、より高い目標を持ち、勉強やスポーツに取り組む姿勢を醸成し、豊かな地域社会を創造できる人材を育みます。

また、関連するプログラムとして、子ども達と東大生の交流事業のほか、大人も対象とした歩行動作の解析等も実施し、スポーツを軸にした教育環境の整備、市民の健康増進に取り組みます。

その他、スポーツ関連の拠点となる、むつマエダアリーナや克雪ドームにおいて、東京大学と連携して動作解析等を一般の施設利用者に提供できるような事業展開を検討し、より高いレベルでのトレーニング効果を求める地域外からの利用者増加を目指し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図ります。

●**むつ市地域スポーツクラブ補助金（部活動地域移行体制構築）**

**【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】** 8,500 千円

中学校部活動の地域移行に関して、令和5年度から市が主体となって地域クラブを設立・運営しています。

令和7年度からは新たに6つのスポーツクラブが地域移行する計画ですが、子ども達のスポーツ活動の選択肢の拡充と将来に渡って子ども達が地域内で幅広く活動できる持続可能な体制を構築するため、地域住民が中心となって設立する地域クラブの運営を支援することを目的として、補助金を交付するものです。

### 3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実

●**むつ市自動運転実証運行事業【新規・DXによるまちづくり推進枠】** 82,091 千円

バス・タクシー事業者の運転手不足は非常に深刻な状況となっており、すでにその影響がバス路線の減便や廃止、タクシー運行車両の減少といった形で顕在化し、年々公共交通を維持・確保することが厳しくなっています。

運転手不足による移動サービスの低下を解消するため、将来的な自動運転の本格導入を見据えて、最先端技術を活用した自動運転車両による実証運行事業を実施します。

●**むつ市公共交通再編検討事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】**

5,555 千円

近年、バス路線の減便や廃止と共にタクシー運行車両が減少していく中で、小中学校部活動の地域移行や令和9年度からの統合校の開校が進められるなどしており、本市における交通事情は大幅な変化を迎えています。それに伴い、本市が公共交通を維持するために投じている財政負担も年々増加しています。

今後、都市の変化に合わせた交通網を形成すると共に、限られた運転手リソースを有効活用し、地域の交通手段を確保するため、「むつ市公共交通再編検討事業」を実施し、市街地における利便性の向上と適正な公共交通の再編を目指します。

●蟹田・脇野沢航路新船建造費支援事業【新規】 78,571 千円

蟹田・脇野沢航路に就航している現行船の老朽化に伴う新船の建造に対して、青森県、運行事業者及び13市町村において建造費を負担します。

負担割合については青森県と運行事業者が9割を負担し、残る1割を13市町村の持株比率に応じて負担します。

●むつ市高齢者無料乗車証事業【継続】 41,241 千円

マイナンバーカードを所持している75歳以上の市内高齢者の公共交通利用について無料化することにより、積極的な社会参加による健康増進及び福祉の向上並びに公共交通機関の利用促進を図ります。

●下北文化会館改修事業【継続】 212,621 千円

老朽化が進んでいる下北文化会館の長寿命化を図るため、施設の適切な改修を進め、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。

なお、令和7年度は、令和6年度に着工した空調設備改修工事が完成する予定であるほか、ホール棟の照明設備を改修するための実施設計と動力盤内の低圧コンデンサの更新工事を行います。

●物価高騰対策ごみ袋配布事業【継続】 27,588 千円

物価高騰に対応するための経済対策として、生活必需品である燃えるごみ用の指定ごみ袋（大）を市内全戸に30枚ずつ配布し、家計の経済的負担の軽減を図ります。

●国スポ・障スポ推進事業【継続】 501,449 千円

「第80回国民スポーツ大会」及び「第25回全国障害者スポーツ大会」の開催に向け、先催県の調査研究、大会の機運醸成を目的とした広報事業を行うほか、正式競技3競技（ローイング、セーリング、フェンシング）のリハーサル大会を開催し、大会の成功に向けた取り組みを推進します。

●+1000歩チャレンジ事業【新規・住み続けられるまちづくり推進枠】

1,147 千円

スーパーなどにステッカーを設置し、自然に歩きたくなるような仕組みづくりを行うことや、多世代の方がウォーキングに親しめるよう、大学と連携しイベントを企画することで地域の健康づくりに対する意識を醸成し、平均寿命・健康寿命の延伸を図ります。

●予防接種事業（定期B類・任意予防接種）

【拡充・住み続けられるまちづくり推進枠】 145,014 千円

子どものインフルエンザ予防接種費用助成について、生後6か月から小学6年生までの助成範囲を高校3年生まで拡充し、子どものインフルエンザの発症及び重症化の防止に努めます。

また、生後6か月までの小児が感染すると重症化することがあるRSウイルス感染症は、妊婦にワクチン接種をすることで母胎から胎児に抗体が移行して感染症に対する予防効果があることから、接種費用の一部を助成し小児のRSウイルス感染症の発症及び重症化の防止に努めます。

●金谷都市拠点地区都市構造再編集集中支援事業【継続】 111,089 千円

都市再生整備計画に基づき、金谷公園を中心として、むつ総合病院、大学キャンパス、下北文化会館、キッズパーク等と一体的な回遊性のあるまちづくりを推進します。

なお、令和7年度は、金谷公園と下北文化会館や大学キャンパスをつなぐ広場等の整備を行います。

●見守りカメラ整備事業【継続・むつ市未来共創まちづくり推進枠】 355 千円

むつ市立地適正化計画で定める居住誘導区域において、「こどもまんなか社会」の実現や「むつ市こどもまんなか宣言」に伴う取り組みとして、子どもの安全、安心を見守り、子育て世代の不安解消へ向け、官民連携による見守りカメラを設置します。

## 4. デジタル化の促進

●防災行政無線音声配信システム運営事業

【新規・むつ市未来共創まちづくり推進枠】 6,458 千円

Jアラート等の緊急放送や防災行政無線で放送された熊の目撃情報などをスマホアプリ「コスモキャスト」で受信できるシステムを運用し、これまでの「聞き取りづらい」といった課題を解決します。

また、町内会向け放送を希望する町内会に対し、簡単な操作で放送が可能となる専用のIP無線機を支給します。

●SMSを活用した郵送DX推進事業【新規・DXによるまちづくり推進枠】

242 千円

令和6年10月に郵送料が値上がりしたことを受け、これまで郵送していた事業やイベントの案内といった手紙やハガキなどの郵便物をSMS（ショートメッセージサービス）で送信することで、封入作業時間の削減や郵送コストの削減を図ります。

●むつ市住民パスポートで暮らし快適事業【継続】 23,812 千円

パーソナルデータ連携基盤と住民パスポートアプリ「むちゅぱ」を活用し、マイナンバーカードをアプリで認証することで、医療費受給資格証や高齢者無料乗車証のデジタル化などの市民サービスを提供します。

●EBPM実践力向上プロジェクト【新規・DXによるまちづくり推進枠】

6,600 千円

自治体を取り巻く環境の変化に対応し、行政資源の有効活用や諸問題に迅速かつ適切に対応するため、有効な手法とされるEBPM（Evidence Based Policy Making：証拠に基づく政策立案）を実践できるよう、職員に対して必要な研修等を実施します。

●観光DX・情報発信システム導入事業【継続】 45,015 千円

スマートシティ構想の一環として、観光施設における来訪者の利便性の向上を目指して観光分野のデジタル化促進を図ります。

なお、令和7年度は、むつ市観光アプリの周知、観光情報の発信やスタンプラリーの実施、アプリの改修・改良等を実施します。

●むつ市メタバース教育支援センター開設事業

【新規・DXによるまちづくり推進枠】 5,723 千円

不登校及び不登校傾向の児童生徒に対して、学びの場の保障や支援を行うため、民間オンライン型フリースクールのノウハウを生かした「むつ市メタバース教育支援センター」を開設し、一人ひとりに寄り添ったオンライン支援を行います。

## 5. 危機管理・防災力の向上

●デジタル防災センター整備関連事業【継続】 1,083,263 千円

近年、激甚化の傾向がある自然災害への対応力を強化するため、市本庁舎開放エリアにデジタル防災センター整備を進め、災害対応時の迅速な意思決定と指揮を行うために必要となる情報を網羅的かつ的確に収集・分析するためのデジタル環境整備に取り組みます。

●アナログ防災行政無線撤去事業【新規】 4,500 千円

防災行政無線のデジタル化に伴い、使用を終えた既存のアナログ防災行政無線を撤去します。アナログ防災行政無線は市有地のほか、私有地にも多数建柱しているため、早急に撤去する必要があり、また、老朽化による設備の落下や柱の倒壊等による被害を防ぐ必要があります。

なお、令和7年度は、子局2本の撤去を予定しています。

●防火水槽整備事業【新規】 16,461 千円

「消防力の整備指針」及び「消防水利基準」に基づき、消防水利である防火水槽の新規設置及び維持管理並びに土地所有者の要望や老朽化のため使用に耐えない防火水槽を撤去します。

なお、令和7年度は、土地所有者の要望に基づき、昭和38年の設置から60年超が経過している防火水槽を撤去します。

●消防団車両整備事業【継続】 34,324 千円

老朽化した消防団車両を更新することにより、消防力を維持するとともに、地域の安全・安心の確保を目指します。

なお、令和7年度は、むつ消防団第6分団に消防ポンプ自動車を整備します。

●むつ消防署女子専用施設整備事業（下北地域広域行政事務組合負担金）【新規】

5,718 千円

時代の変遷とともに女性職員の採用が進み、現在、下北消防本部では9名の女性職員が活躍しています。

女性専用のシャワーユニットと洗濯機を整備することにより、女性職員がより一層安心して生き活きと業務に従事できる執務環境の整備を行います。

●川内消防分署・脇野沢消防分署整備事業（下北地域広域行政事務組合負担金）

【継続】 13,322 千円

川内・脇野沢両消防分署は津波の浸水想定区域内にあり、老朽化が著しく、保有する消防車両の大型化や資機材の増加により手狭な執務環境となっています。

また、旧耐震基準時代の建物であり、風水害にも脆弱であることから、新築・移転し、執務環境の改善を図り、災害に強い地域の防災拠点として整備します。

なお、令和7年度は、造成・舗装工事のほか、建築工事等を実施します。

## ■ 予算の主な増減理由

### 1. 歳出

①本庁舎電気室電源改修工事	+104,575千円	( 2,620→	107,195千円 )
②デジタル防災センター整備関連事業 (令和6年7月補正予算事業)	+1,083,263千円	( 皆増 )	
③下北文化会館改修事業	+124,674千円	( 87,947→	212,621千円 )
④地域振興基金費	+351,127千円	( 350,019→	701,146千円 )
⑤ふるさと納税基金費	+110,000千円	( 190,001→	300,001千円 )
⑥児童手当扶助費	+255,110千円	( 474,790→	729,900千円 )
⑦幼稚園・認定こども園扶助費	+207,616千円	( 856,621→	1,064,237千円 )
⑧生活保護扶助費	+103,924千円	( 2,078,976→	2,182,900千円 )
⑨スマート農業推進事業	▲295,300千円	( 皆減 )	
⑩ナマコ増殖場整備事業	+135,643千円	( 皆増 )	
⑪湯野川温泉濃々園建替事業	+335,317千円	( 33,107→	368,424千円 )
⑫橋梁長寿命化修繕事業	+157,267千円	( 94,679→	251,946千円 )
⑬防災情報伝達手段整備事業	▲202,343千円	( 皆減 )	
⑭学校給食費無償化事業 (令和6年6月補正予算事業)	+237,335千円	( 皆増 )	
⑮GIGAスクール端末等整備事業	+112,701千円	( 22,110→	134,811千円 )
⑯小中学校冷房設備整備事業	▲419,000千円	( 673,000→	254,000千円 )
⑰地域文化・スポーツクラブ推進事業	+150,366千円	( 191,990→	342,356千円 )
⑱(仮称)むつ市防災食育センター建設事業	▲3,148,100千円	( 皆減 )	
⑲学校給食調理業務委託料	+126,884千円	( 75,315→	202,199千円 )
⑳国民スポーツ大会準備事業(セーリング競技艇置場整備工事)	▲233,761千円	( 皆減 )	
㉑国スポ・障スポ推進事業	+501,449千円	( 皆増 )	

## 2. 歳入

① 市税	+350,877 千円 ( 5,642,405→ 5,993,282 千円 )
② 地方特例交付金	▲224,039 千円 ( 270,469→ 46,430 千円 )
③ 地方交付税	+331,000 千円
・ 普通交付税	+304,000 千円 (10,232,000→10,536,000 千円 )
・ 特別交付税	+27,000 千円 ( 1,700,000→ 1,727,000 千円 )
④ 国庫支出金	▲79,229 千円
・ 児童手当負担金	+260,025 千円 ( 326,235→ 586,260 千円 )
・ 子どものための教育・保育給付交付金	+106,554 千円 ( 909,242→ 1,015,796 千円 )
・ 災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金	+807,323 千円 ( 皆増 )
・ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金	▲1,852,605 千円 (1,935,750→ 83,145 千円 )
・ 物価高騰対応重点支援助地方創生臨時交付金	▲118,452 千円 ( 146,040→ 27,588 千円 )
・ 新しい地方経済・生活環境創生交付金	+269,972 千円 ( 皆増 )
⑤ 県支出金	+1,095,294 千円
・ 国スポーツ競技別リハーサル大会運営費補助金	+110,681 千円 ( 皆増 )
・ 青森県核燃料物質等取扱税交付金	+229,959 千円 ( 313,000→ 542,959 千円 )
・ 核燃料サイクル交付金	+400,000 千円 ( 皆増 )
⑥ 寄附金	+131,000 千円
・ ふるさと納税寄附金	+110,000 千円 ( 190,000→ 300,000 千円 )
⑦ 繰入金	▲76,985 千円
・ 減債基金繰入金	▲202,727 千円 ( 320,000→ 117,273 千円 )
⑧ 市債	▲1,851,000 千円
・ 庁舎整備債 ( デジタル防災センター整備事業 )	+218,900 千円 ( 皆増 )
・ 農業施設整備債 ( スマート農業推進事業 )	▲286,400 千円 ( 皆減 )
・ 道路橋りょう整備債 ( 市道等整備事業 )	+217,400 千円 ( 289,600→ 507,000 千円 )
・ 防災基盤整備債 ( 防災情報伝達手段整備事業 )	▲202,300 千円 ( 皆減 )
・ 学校給食施設整備債 ( ( 仮称 ) むつ市防災食育センター建設事業 )	▲1,037,800 千円 ( 皆減 )
・ 借換債	+87,800 千円 ( 639,300→ 727,100 千円 )

## ■ 財源対策

国庫支出金や基金の活用による歳入確保や事務事業の見直し等による経費の節減など、所要の財源対策を講じている。

### 1. 歳入の確保

	<u>計 3,285,316 千円</u>
① ネーミングライツ料	<u>3,685 千円</u>
② 災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金	<u>807,323 千円</u>
③ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	<u>27,588 千円</u>
④ 新しい地方経済・生活環境創生交付金	<u>269,972 千円</u>
⑤ 国スポーツ競技別リハーサル大会運営費補助金	<u>110,681 千円</u>
⑥ 青森県核燃料物質等取扱税交付金	<u>542,959 千円</u>
⑦ 核燃料サイクル交付金	<u>400,000 千円</u>
⑧ ふるさと納税寄附金	<u>300,000 千円</u>
⑨ 地域振興基金繰入金	<u>400,000 千円</u>
⑩ 減債基金繰入金	<u>117,273 千円</u>
⑪ 地域基盤安定化基金繰入金	<u>305,845 千円</u>

### 2. 公共施設維持管理経費及び事務事業の見直しによる効果額

	<u>計 ▲32,575 千円</u>
① 納税貯蓄組合補助金の廃止	<u>▲4,222 千円</u>
② スマート・ウェルネス研究事業の廃止	<u>▲1,420 千円</u>
③ 健幸アップ事業の廃止	<u>▲8,795 千円</u>
④ 予防接種事業（定期A類）の見直し	<u>▲6,372 千円</u>
⑤ むつ市のうまいでポケバル推進事業の廃止	<u>▲2,000 千円</u>
⑥ 商店街街路灯管理事業の見直し	<u>▲4,123 千円</u>
⑦ 学校支援員配置事業の廃止	<u>▲5,643 千円</u>



## ■ 一般会計の財政構造

区 分	令和7年度	令和6年度	比 較
自主財源	10,697,190千円	10,401,564千円	295,626千円
	26.1%	26.1%	—
依存財源	30,219,810千円	29,649,436千円	570,374千円
	73.9%	73.9%	—
義務的経費	16,669,842千円	15,862,967千円	806,875千円
	40.7%	39.6%	—
人件費	4,710,435千円	4,552,379千円	158,056千円
扶助費	7,848,596千円	7,267,153千円	581,443千円
公債費	4,110,811千円	4,043,435千円	67,376千円
普通建設事業費	4,731,651千円	6,686,393千円	△1,954,742千円
	11.6%	16.7%	—

※各項目の整理上、構成比の端数を調整しています。

## ■ 当初予算規模の推移

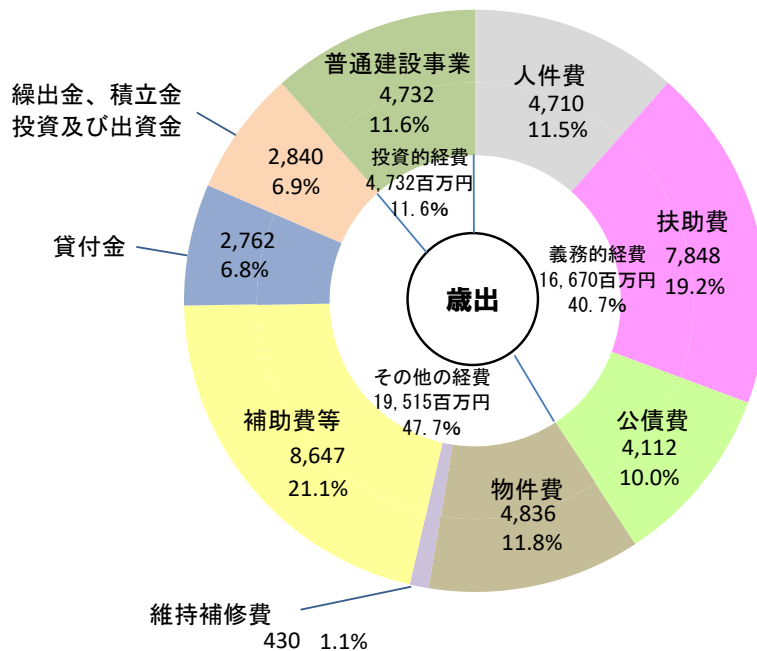
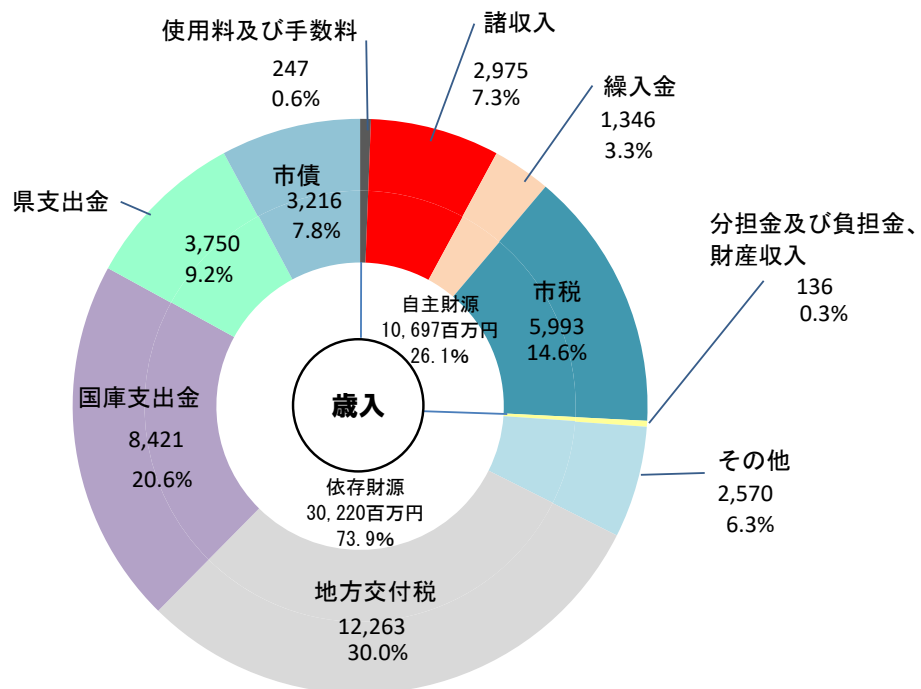
年度	国の予算		地方財政計画		青森県の予算		むつ市の予算		備考
	(億円)	伸率 (%)	(億円)	伸率 (%)	(百万円)	伸率 (%)	(百万円)	伸率 (%)	
4	722,180	2.7	743,651	4.9	668,368	0.3	15,765	0.1	
5	723,548	0.2	764,152	2.8	682,911	2.2	15,774	0.1	
6	730,817	1.0	809,281	5.9	749,283	9.7	15,532	△1.5	
7	709,871	△2.9	825,093	2.0	642,349	△14.3	16,665	7.3	県は骨格予算
8	751,049	5.8	852,800	3.4	778,899	21.3	17,330	4.0	
9	773,900	3.0	870,596	2.1	818,123	5.0	18,953	9.4	
10	776,692	0.4	870,964	0.0	836,680	2.3	18,457	△2.6	
11	818,601	5.4	885,300	1.6	871,710	4.2	20,671	12.0	
12	849,871	3.8	889,300	0.5	918,390	5.4	18,420	△10.9	
13	826,523	△2.7	893,071	0.4	903,273	△1.6	18,873	2.5	
14	812,300	△1.7	875,666	△1.9	870,175	△3.7	18,862	△0.1	
15	817,891	0.7	862,107	△1.5	816,500	△6.2	19,380	2.7	
16	821,109	0.4	846,669	△1.8	768,500	△5.9	21,917	13.1	
17	821,829	0.1	837,687	△1.1	740,100	△3.7	29,108	32.8	
18	796,860	△3.0	831,508	△0.7	722,100	△2.4	28,538	△2.0	
20	830,613	0.2	834,014	0.3	707,800	△1.3	29,313	1.3	
21	885,480	6.6	825,557	△1.0	691,200	△2.3	32,058	9.4	
22	922,992	4.2	821,268	△0.5	692,300	0.2	33,950	5.9	
23	924,116	0.1	825,054	0.5	692,800	0.1	34,600	1.9	
24	903,339	△2.2	842,764	2.1	707,500	2.1	32,764	△5.3	
25	926,115	2.5	844,532	0.2	699,500	△1.1	32,764	0.0	
26	958,823	3.5	855,745	1.3	691,000	△1.2	32,773	0.0	
27	963,420	0.5	877,675	2.6	700,800	1.4	32,372	△1.2	
28	967,218	0.4	876,702	△0.1	697,000	△0.5	32,914	1.7	
29	974,547	0.8	879,986	0.4	684,600	△1.8	32,860	△0.2	
30	977,128	0.3	881,087	0.1	663,000	△3.2	38,216	16.3	
1	1,014,571	3.8	907,975	3.1	665,000	0.3	36,358	△4.9	
2	1,026,580	1.2	917,473	1.0	681,600	2.5	36,350	△0.02	
3	1,066,097	3.8	902,478	△1.6	718,600	5.4	38,700	6.5	
4	1,075,964	0.9	909,928	0.8	733,300	2.0	38,810	0.3	
5	1,143,812	6.3	923,584	1.5	738,400	0.7	40,502	4.4	
6	1,125,717	△1.6	939,269	1.7	702,200	△4.9	40,051	△1.1	
7	1,155,415	2.6	973,000	3.6	709,500	1.0	40,917	2.2	

※平成24年度以降の地方財政計画は通常収支分と東日本大震災分の合計としています。

令和7年度むつ市一般会計予算 (財源別・性質別)

予算額 40,917百万円

(単位：百万円)



※各項目の整理上、予算額及び構成比の端数を調整しています。